

メニュー-1	その他	メニュー-2	その他
質問	CSV出力した一覧表をEXCELで開くと、商品コードの最初の0が消える、製造番号が「12.E+34」のように表示されたり後ろが0になるなどの現象が出て正しく表示されません。		
回答	CSVファイルをダブルクリックして開くと、EXCELの仕様により正しく表示されないことがあります。下記の手順で正常に表示することができます。		

CSVファイルをダブルクリックして開くと、EXCELの仕様により以下の現象が出ます。

- すべて数字の項目で、最初が0で始まると最初の0が消える。
- すべて数字の項目が12桁を超えると「12.E+34」のように表示される。
- すべて数字の項目が15桁を超えると、15桁以降がすべて0になる。

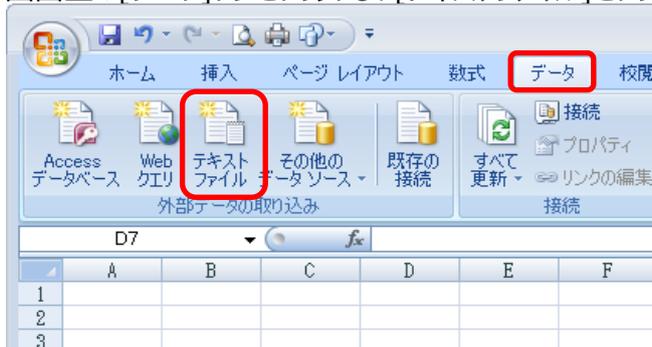
このような場合、以下の手順で正常に表示させることができます。

- ①Windows7の場合は、[スタート]→[すべてのプログラム]からEXCELを開きます。
Windows8.1またはWindows10の場合は、アプリの一覧からEXCELを開きます。
※EXCELを開いた直後、テンプレート選択の画面が表示される場合は、「空白のブック」を選択します。

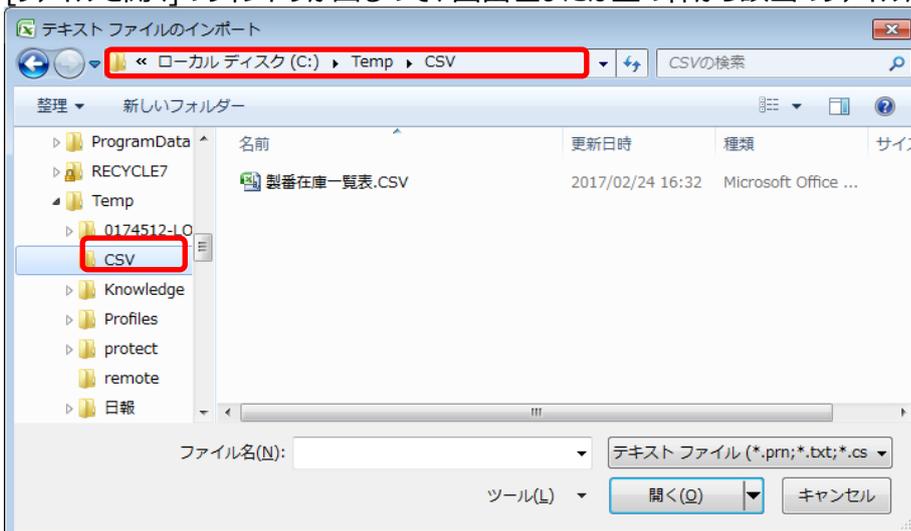
※以下、EXCELのバージョンによって異なります。

【EXCEL2013までの場合】

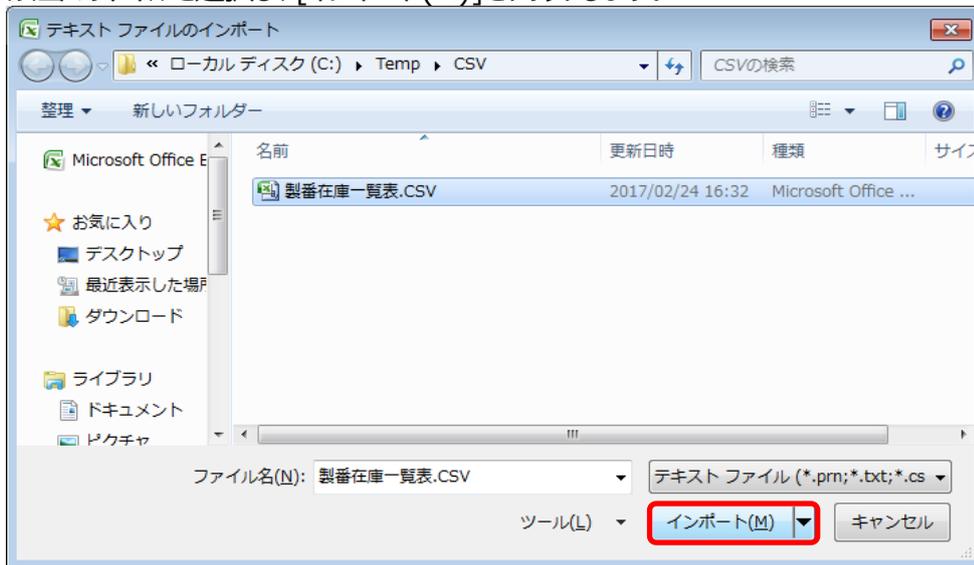
- ②画面上の[データ]タブをクリックし、[テキストファイル]をクリックします。



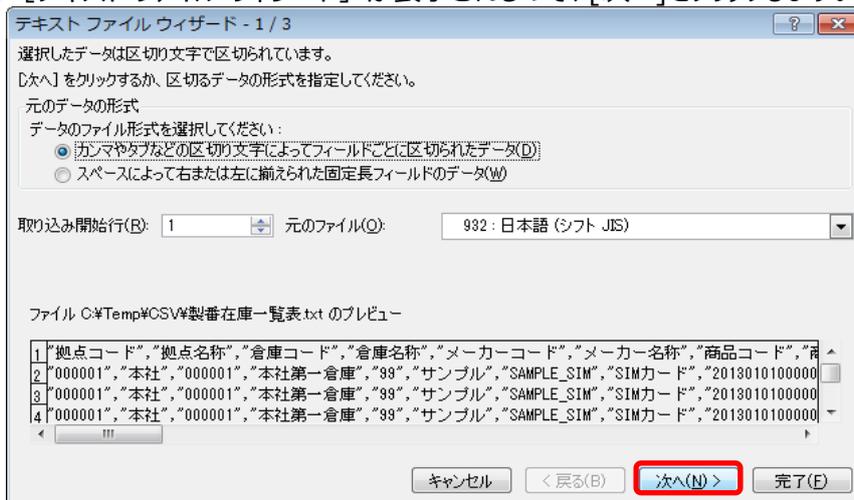
- ③[ファイルを開く]のウィンドウが出るので、画面左または上の枠から該当のファイルが入っているフォルダを選択します。



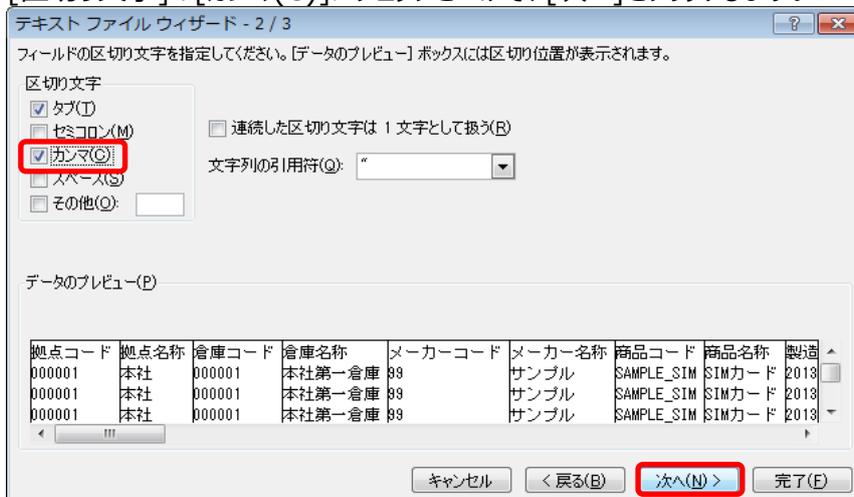
④ 該当のファイルを選択し、[インポート(M)]をクリックします。



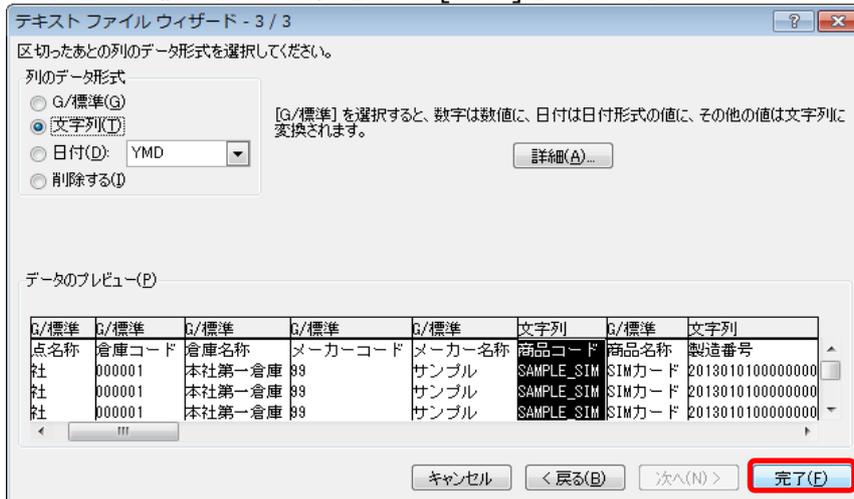
⑤ [テキスト ファイル ウィザード] が表示されるので、[次へ]をクリックします。



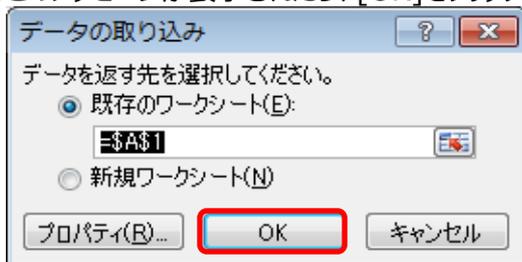
⑥ [区切り文字]の[カンマ(C)]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。



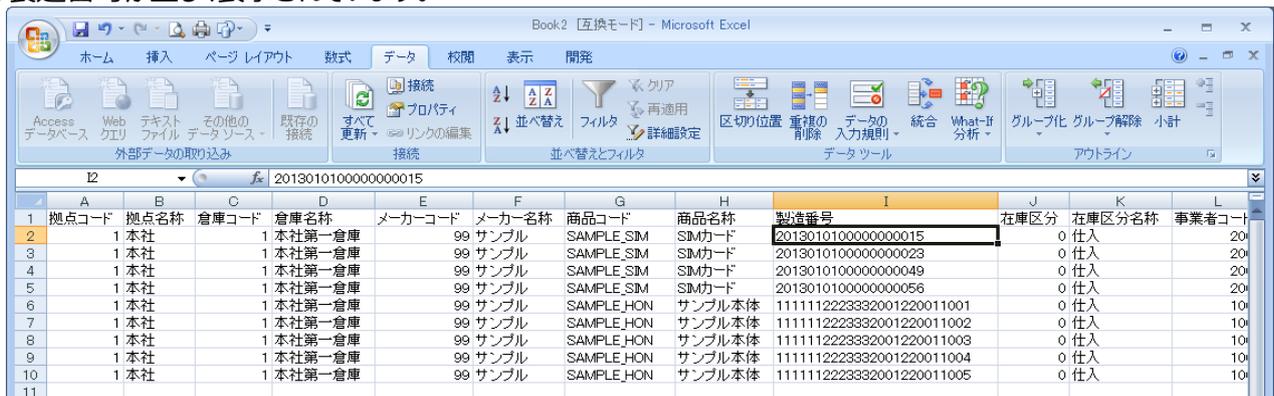
- ⑦商品コードの欄をクリックして反転させ、[文字列(T)]をクリックします。
製造番号の欄でも同じ操作を行い、[完了]をクリックします。



- ⑧このメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

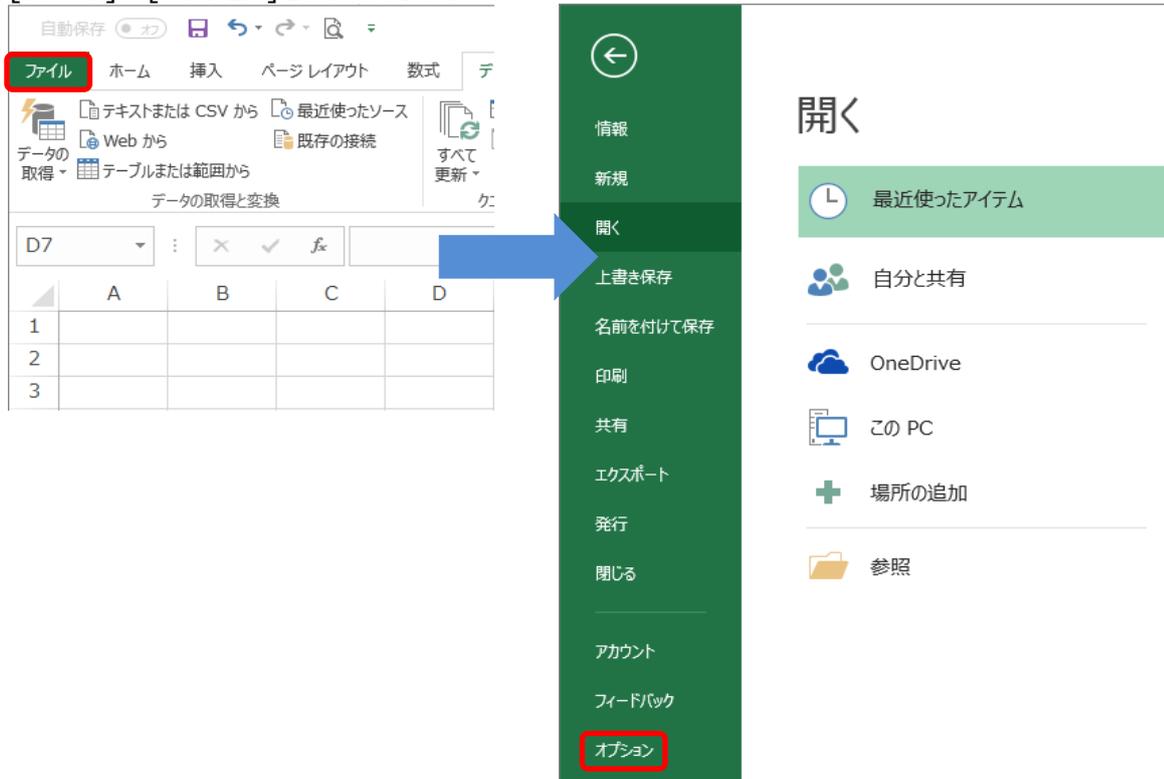


- ⑨製造番号が正しく表示されています。



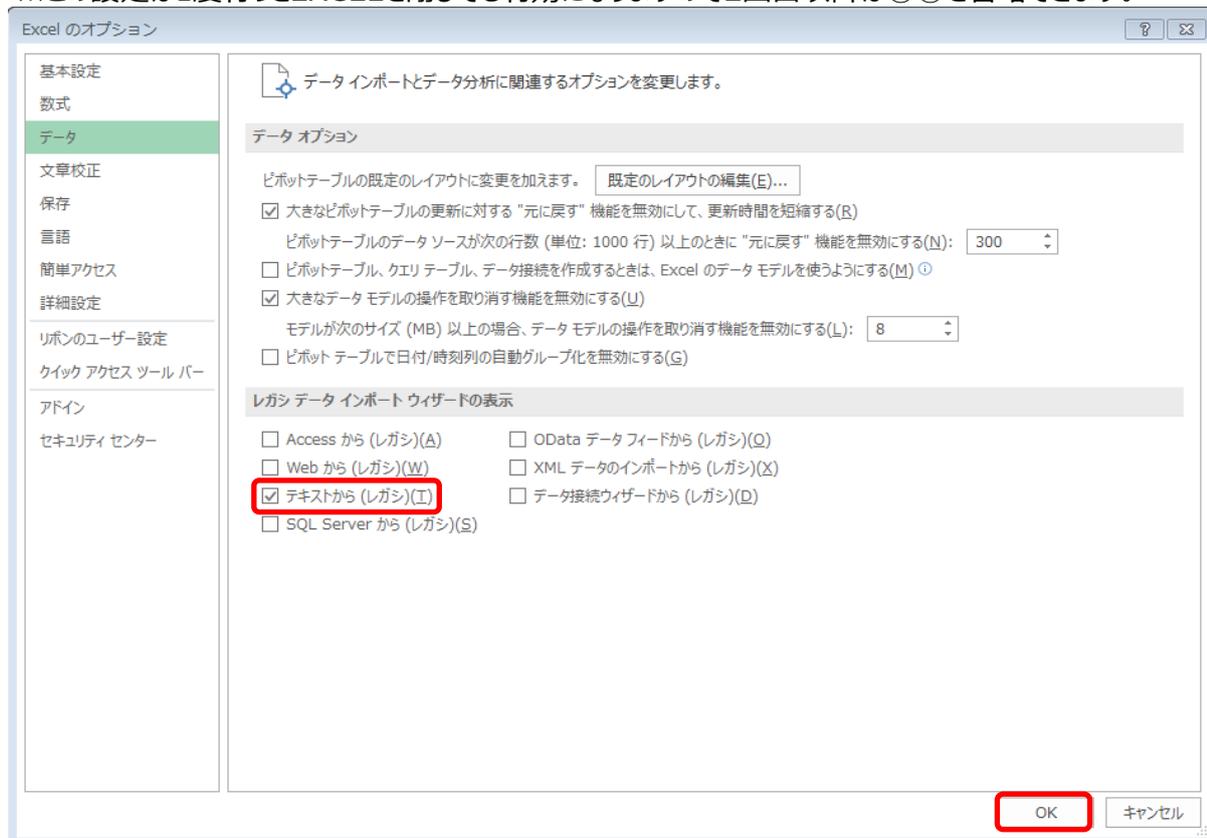
【EXCEL2016以降の場合】

②[ファイル]→[オプション]をクリックします。



③[データ]の中の、[テキストから (レガシ) (T)]にチェックをつけて、[OK]をクリックします。

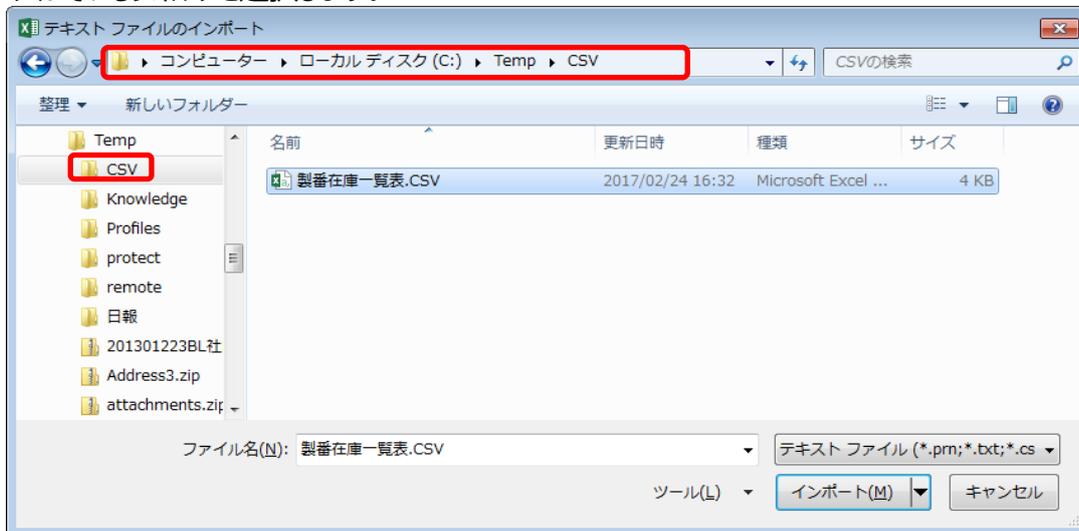
※この設定は1度行くとEXCELを閉じても有効になりますので2回目以降は②③を省略できます。



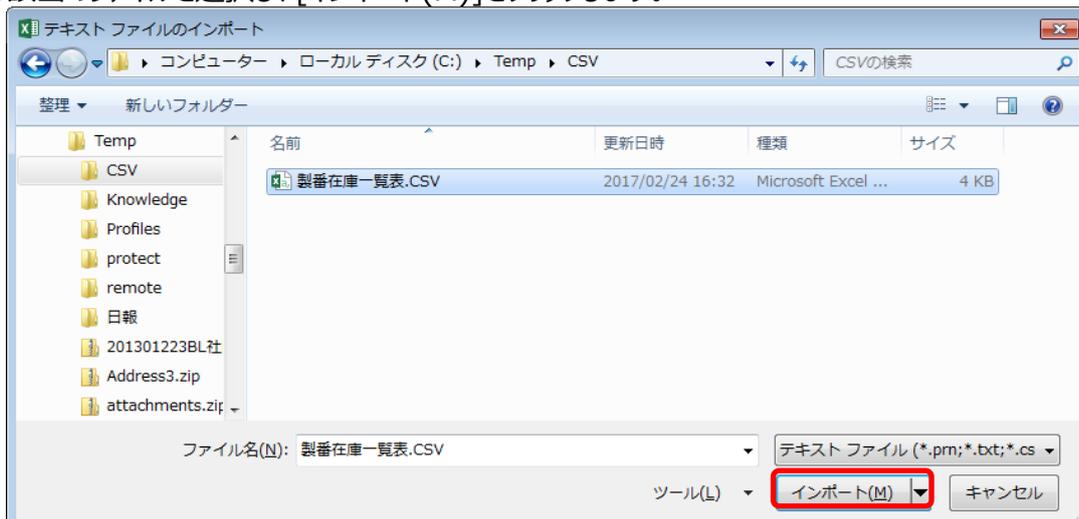
④画面上の[データ]タブをクリックし、[データの取得]→[従来のウィザード(W)]→[テキストから(レガシ)(T)]をクリックします。



⑤[テキストファイルのインポート]のウィンドウが表示されるので、画面左または上の枠から該当のファイルが入っているフォルダを選択します。



⑥該当のファイルを選択し、[インポート(M)]をクリックします。



⑦ [テキスト ファイル ウィザード] が表示されるので、[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 1 / 3

選択したデータは区切り文字で区切られています。
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください：

カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)

スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

取り込み開始行(R): 1 元のファイル(O): 932 : 日本語 (シフト JIS)

先頭行をデータの見出しとして使用する(M)

ファイル C:\Temp\CSV\製番在庫一覧表.CSV のプレビュー

1	"拠点コード","拠点名称","倉庫コード","倉庫名称","メーカーコード","メーカー名称","商品コード","商
2	"000001","本社","000001","本社第一倉庫","99","サンプル","SAMPLE_SIM","SIMカード","201301010000000
3	"000001","本社","000001","本社第一倉庫","99","サンプル","SAMPLE_SIM","SIMカード","201301010000000
4	"000001","本社","000001","本社第一倉庫","99","サンプル","SAMPLE_SIM","SIMカード","201301010000000
5	"000001","本社","000001","本社第一倉庫","99","サンプル","SAMPLE_SIM","SIMカード","201301010000000

キャンセル < 戻る(B) **次へ(N) >** 完了(E)

⑧ [区切り文字]の[カンマ(C)]にチェックをつけて、[次へ]をクリックします。

テキスト ファイル ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。 [データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

タブ(T)

セミコロン(M) 連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

カンマ(C)

スペース(S)

その他(O):

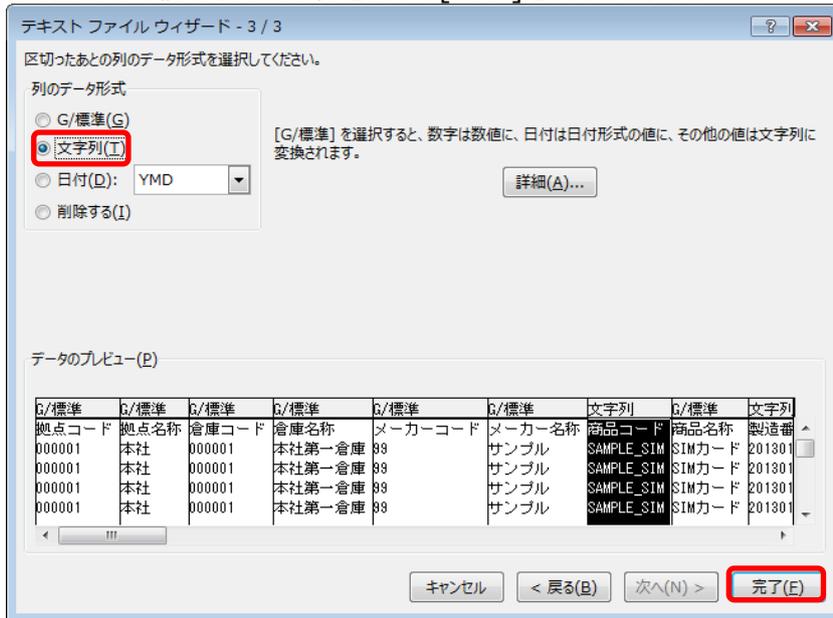
文字列の引用符(Q): "

データのプレビュー(P)

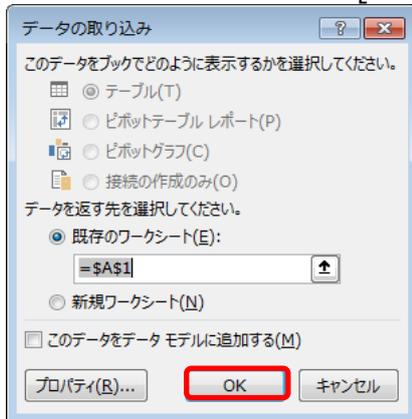
拠点コード	拠点名称	倉庫コード	倉庫名称	メーカーコード	メーカー名称	商品コード	商品名称	製造番
000001	本社	000001	本社第一倉庫	99	サンプル	SAMPLE_SIM	SIMカード	201301
000001	本社	000001	本社第一倉庫	99	サンプル	SAMPLE_SIM	SIMカード	201301
000001	本社	000001	本社第一倉庫	99	サンプル	SAMPLE_SIM	SIMカード	201301
000001	本社	000001	本社第一倉庫	99	サンプル	SAMPLE_SIM	SIMカード	201301

キャンセル < 戻る(B) **次へ(N) >** 完了(E)

- ⑨商品コードの欄をクリックして反転させ、[文字列(T)]をクリックします。
製造番号の欄でも同じ操作を行い、[完了]をクリックします。



- ⑩このメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。



- ⑩製造番号が正しく表示されています。

